



鍋島小PTA新聞の「養正」ってどこから来たの？

私たちが、毎学期ごとに読んで
いるPTA新聞の「養正」。
「この養正」といつタイトルは、
誰が、どんなふうにして付けたの
か知っていますか？
鍋島小学校の校歌にも歌われ
ている、「養正」の謎を、私たち広
報委員が調べました。

鍋島小学校って、昔は養正小学校って呼ばれていたんだよ



私たちの住んでいる鍋島町には、明治の初めには、八戸溝 森田を新庄学区、また蛸久 鍋島を蛸久学区とし、それぞれに小学校がありました。場所は、蛸久の満性院 森田の福万寺 鍋島の観音寺 東新庄と新村の民家の五ヶ所だったそうです。児童は合わせて四百名くらいでした。当時、鍋島町に住んでいた堤長定(つみ ちやうてい)という人が、小規模の小学校よりも、1つの大きな小学校にして、いっそう教育に力を入れようとして、一つの学区を合併して五つの小学校を一つにするために立ち上がりました。町内を東奔西走して、明治十五年に今の鍋島小学校の場所に「養正小学校」を建てました。これが鍋島小学校の始まりです。その後、明治三十五年に鍋島尋常小学校と改称し、「鍋島小学校」となりました。



堤長定氏



嘉永六年(1853年)、上佐賀代官重松基吉氏の次男として、佐賀城下の小路に生まれました。明治七年(1874年)の佐賀の乱の時、伯父島義勇氏(佐賀の七賢人の一人)で北海道開拓首席判事 慶国党党首)の考え方に感銘して、弱冠二十一才で慶国少年隊長として戦いに加わり奮戦しました。資性剛直 清廉潔白な人柄で、教育に対してとても熱心でした。このため、「養正小学校」の創立に力を尽くし、教員として、また、学務委員として二十数年の間、鍋島町の教育に貢献しました。晩年は、植木の自宅にある水車を利用して、精米業を営んでいました。大正十三年(1924年)、七十二才でこの世を去りました。



薫りは高し 文の庭
希望は光る 学窓に
学ぶ 鍋島小学校

昭和51年当時の小学校

小学校の名前をつけたのは、佐賀郡長の家永氏

当時の郷土新聞「鎮西日報」に養正小学校の創立に関する記事が載っていますが、残念ながら、名前をつけた人のことは、「佐賀郡長の家永氏」とだけしか載ってなく、どういった人なのかわかりませんでした。しかし、「創立百周年記念誌」の中に「養正」が何から引用されたのか載っていました。

「養正」って「易経」から取ったんだよ

今から2500年前の中国に、伏羲という王様がいました。この人が易の八卦を作り「易経」という本ができました。この中の、「山水蒙」といつ文の中に

蒙以養正、聖功也。
象曰、山下出水、蒙。
君子以果行育德。



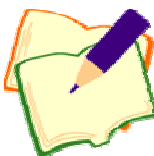
読み方
蒙(もう)にして以(も)つて正(ただ)を養(やしな)うは
聖(せい)の功(こう)なり。
象(さう)に曰(いは)く、山下(やまのした)に出(い)でる
泉(いづみ)あるは、蒙(もう)なり。
君子(くんし)以(も)つて行(い)いを果(は)し
徳(とく)を育(やしな)ふ。

というくだりがあります。ここに出てくる「養正」から取ったものです。では、「この養正」には、どんな意味があるのでしょうか？校歌を作詞した、木村善太郎氏と、易学の専門家の田中恵祥氏の説を取り上げてみたいと思います。

易経には教育の基本が書いてあるよ

この「山水蒙」といつ文の中には、教育の基本となる教えが書いてあります。
木村氏によると、「蒙」とは、ねなしかずらのような野草のことです。これが生い茂ると、あたり一面を覆いつくしてしまい、農家は作物を作ることができません。そこで、この草を刈って土地を耕し、畑を作ります。

私たち人間の教育もこの「蒙」の除去と同じだそうなんです。赤ちゃんの頃は、五感に入ってくるものすべてを覚え、いつか「正」になっているけれど、小学校に上がる頃から、知能が急速に発達して、性格が表れはじめ、自我も出てくるので、頭の中に、よい草も生えますが、蒙(もう)のように悪い草も生えます。そこで、子ども達にきちんとした知識を教え、良い教育をしなくてはなりません。正しいことを教えることが尊い仕事です。実行力をつけ、徳を育て、子どもの中の蒙(もう)を刈り取ることが、教育家や先人の尊き使命であり天職であると述べています。
また、田中氏によると、「蒙」とは、将来が未知数な子どものことです。その子どもに対して先生が生徒として求めるのではなく、子どもが先生を求めて、学問や稽古事に励み、教養を高め、自分自身を磨かなくてはなりません。すなわち、学ぶ側の意欲に基づき、自主性と謙虚さが、教育の原点になっていると述べています。
「これらの教育に対する考え方のつとめて養正」といつ名前がつけられたようなんです。先人たちの思いのこもった名前を忘れないように、木村氏は校歌に「養正」の文字を残しています。
私たちが、今一度、鍋島小学校の創立当時の思いを噛み締めながら、子どもたちの教育について考えてみませんか。



参考文献

- ・創立百周年記念誌 「鍋島」 佐賀市立鍋島小学校
- ・鍋島町史 佐賀市立鍋島公民館
- ・鍋島町史 人物編 佐賀市立鍋島公民館
- ・易経 高田真治・後藤基巳訳 岩波ブックサーチャー
- ・易経入門 田中恵祥著 ダイヤモンド社